

平成 26 年 9 月 18 日

海事技術史研究会 会員各位

## 平成 26 年度（第 17 回）交流会\*

会長 池田宗雄  
世話人（編集担当） 平山次清  
世話人（会費担当） 庄司邦昭  
世話人（事務局補佐） 高嶋恭子

拝啓 流石に秋の気配を感じる今日この頃ですが、会員の皆様如何お過ごしでしょうか。さて、この度平成 26 年度の研究会の交流会\*（講演会・懇親会）を下記要領で開催いたします。今回は**特別講演も企画しました**。恒例の懇親会も予定していますので是非多数のご参加をお願いします。

（会場に関しては北沢様、庄司様および海洋会横浜支部長・斎藤徹郎様、事務室長・神谷洋一郎様他の方々にお世話になっています）

\*内容的には「講演会と懇親会」ということで、気軽に参加いただけるように、「交流会」という表現にさせていただきます。

敬具

—記—

### **出欠連絡期限：10月14日（火）中までに**

出欠連絡先：今回担当（平山）

郵便（平山自宅）：236-0005 横浜市金沢区並木 3-8-4-204

FAX（平山自宅）：045-783-6055

携帯電話（平山）：090-4827-5184

Eメール：[hirayama@ynu.ac.jp](mailto:hirayama@ynu.ac.jp)

## 交流会日時：平成 26 年 10 月 18 日（土）

講演会：10:30（10時開場）～16:30

懇親会：17:00～18:30

**場所：海洋会横浜支部会議室（大棧橋近く）（写真・地図添付）**

〒231-0002 横浜市中区海岸通 1-1

当日会議室電話は不通です。携帯電話 090-4827-5184（平山）まで。

**交通：**JR“関内駅”から徒歩10分。

地下鉄（みなとみらい線）“日本大通り駅”から徒歩7分

**昼食：**各自（近くのレストラン地図（北沢様作成）を配布します）

**懇親会：**同じ建物内にて。（費用 3000 円、当日いただきます）

**宿泊：**ホテルは多数ありますが、会場まで徒歩15分で、安直な所は東横イン（横浜スタジアム前）045-664-1045 または 045-277-1045 ナビオス（船員会館）045-633-6000 新港地区、などがあります

## 講演会プログラム（予定）

（機材：PPT プロジェクターは用意します。パソコンも世話人の方で用意しますが動画があるとマッチしない場合もあります。なお OHP は用意できませんので原稿を平山まで送っていただければ PPT プロジェクター用のファイルを作成します）

（下記講演予定者は既に連絡いただいた方ですが、ご希望あれば追加します）

**午前中（10:30～12:00）** [講演順は予定なので、御希望があれば当日調整します]

開会の挨拶：池田会長

自己紹介：参加者による

講演：著書紹介—熊谷光久著『日本軍の精神教育—軍紀風紀の維持対策の発展—』

熊谷光久（午前中をご希望）

**昼食（各自）**（近くのレストラン地図（北沢様作成）を配布します）

**午後（13:00～16:30）**

**特別講演（13:00～14:00）**：鷹島神崎遺跡の元寇 の船 安達裕之（東京大学名誉教授）

注）鷹島は九州北西部の伊万里湾口にある島で、島およびその周辺部は元寇の古戦場として知られる。遺跡からは武具や陶磁器のほか、長さおよそ 12 メートルの竜骨など艦船の部材も見つかっており、文化審議会が元寇当時の「軍事・外交などを理解する上で極めて重要な遺跡」と評価し、2012 年（平成 24 年）3 月 27 日に水中遺跡として初めて国の史跡に指定された。（インターネットより）

講演：航海安全の神、媽祖の信仰 北沢 昌永（商船三井(株)元船長）

講演：表紙に寄せて：海路によりユーラシア大陸の東と西を結んだダウ

池田 宗雄（東海大学元教授）

講演：弁才船の帆柱の起倒法

小嶋 良一（関西設計(株) 取締役）

講演：東洋汽船の航跡と終焉

野間 恒（九州急行フェリー元社長）

講演：①小型船艇の外板構造 ②尾張ダンベ ③川上音二郎の大航海

大橋郁夫（大橋内科）

講演：シングルチャンネルによる縦艀の模型化 土井 厚（日本航空元パイロット）

講演：①田辺朔郎と明治工業史（造船編）—お雇い外国人の遺したもの—

②復元船サンファンバウティスタ号の今 ③[紹介]複板型ブルワーク実現

平山次清（横浜国立大学名誉教授）

講演：海難の歴史（1）旅客船オリンピックと巡洋艦ホークの衝突事故

庄司 邦昭（運輸安全委員会）

講演：追加（追加ご希望があれば）

**懇親会（17:00～18:30）** 同じ建物内にて（会費3000円）

